

- ★三重で新地域労連誕生!! ..... 1面
- ★ケアを政治の中心に..... 4-6面
- 同志社大学 大学院教授 岡野八代さん×小畑雅子 全労連議長
- ★米国でストの波「ストライクオーバー」の背景..... 8面



結成大会で「ガンパロー！」と意思統一



工作機械の大手メーカーDMG森精機・伊賀事業所前での宣伝行動

# 安心して働き、暮らせる地域へ

## 労働組合を軸に運動広げたい

### 伊賀名張地域労連が誕生!

三重県に2021年11月、6つ目の地域労連が誕生しました。県の北西部に位置する伊賀名張地域労連(和田四十八議長)。地域で活動する労働組合など5団体で結成しました。地域の労働者や市民が結集できる「センター」として、労働問題や地域医療を守る課題など、幅広い問題に取り組んでいく考えです。

#### 労働者の権利が知られていない ユニオン中心に労働相談

三重県は南北に長く、四つも入れるローカルユニオンが中心。日南市や津市、鈴鹿市や松阪市など大きな都市がいくつもあるものの、中核都市があまりありません。三重県労連のある津市は中部にあって南部や北部の組合員は結果的にくいことから、県労連ではこの間、各地域の一人ひとりが取れない、仕事を辞めさせてくれない、という内容が多い。労働者の権利を知らない人が多すぎると感じていた。伊賀名張ユニオンで労働相談に応じている大塚偉介幹事は話している。伊賀名張ユニオンは、伊賀名張地域労連が結成され、労働相談や市民講座などに取り組んでいくことになりました。「労働相談では、働く権利を知らせていき



「働き方改革」に関する市民講座にも取り組み、地域労連結成につなげた

#### 声をあげれば変えられる!

伊賀市には大手の工作機械メーカー・森精機の伊賀事業所があり、約1500人が働いています。同事業所の契約社員が通算勤務5年を超え無期労働契約になる直前、解雇を言い渡されたことから伊賀名張ユニオンに相談。団体交渉で正社員化を勝ち取りました。同社はヨットレースなどに多額の費用をつぎ込む一方、昨年は一方的に一時金減額。これに対しユニオンは、門前で「ヨットよりボーナスを!」と宣伝し、社内でも話題に。法律に抵触するようなら社内規則も変更するよう求め、ユニオンなどは「名張市立病院を守りよめる会」をつくらせています。

#### 市民の幅広い要求に応えるために

声も増やしたい—それが大塚さんたちの願いです。

#### 市民のための市立病院を守りたい

地域労連結成のきっかけの一つになったのが、名張市立病院の「経営改善問題」です。2020年末、市

長が突然、市立病院の経営改善を言い出し、2021年8月には議会から指定管理運営制度を含む民間活力による経営改善が提案されました。市民にはほとんど知らされていなかったため、ユニオンなどは「名張市立病院を守りよめる会」をつくらせています。地域労連というセンターがあることで、こうした市民の要望にもとづく幅広い運動が展開しやすくなる、と赤瀬川さん。同時に、「今年には参議院選挙があり、憲法改悪が争点の一つになるはず。地域のさまざまな団体の人々と憲法9条・平和を守る運動をつくってきたい」とも。

課題は組合員の高齢化と後継者不足。そのためにも地域で組合員を増やしていくことが求められており、地域労連を軸に運動を大きく広げていく決意です。(伊賀名張地域労連に取材)



### 三重県 伊賀名張 地域

三重県の北西部に位置する伊賀市(約9万人)と名張市(約8万人)。古くから都(飛鳥、奈良、京都)に隣接する地域として、また、伊勢を結ぶ街道沿いの宿場町として栄えた。名張市は大阪府のベッドタウンとして発展してきたが、近年は人口減少・高齢化が進んでいる。